

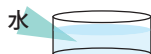
Do It Your Self・障子の張替え

自分で張替えするなら、さまざまな障子紙を用いて「ちょっと今までとは違う貼り方をする」こともできる。ここでは、基本となる障子紙の貼り方を伝授します。



用意するもの

カッターナイフ



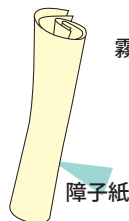
水

地べらまたは定規



のり刷毛または
柔らかめの塗装用刷毛など

のり

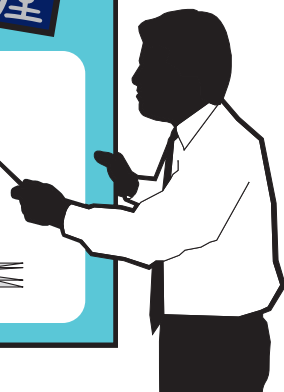


障子紙



霧吹き

新聞紙



障子紙は大判の方が貼りやすいのか？それとも、二尺三尺版を使った方が貼りやすいのか？

答えは、一長一短です。

大判の方が手間もかからず貼ることができますが、紙が大きい分、扱いにくさが生じます。

二尺三尺は、開口サイズの障子を貼る場合、3枚の障子紙の下準備を必要とします。

紙質や紙のディテールなどを考慮してご購入をおすすめします。

見た目は皆同じに見える障子紙。なぜ、そんなに価格差があるのか？

まず、「機械漉き」か「手漉き」かで大きな違いとなります。

「手漉き」の障子紙は、繊維と水のみで作成されるので吸湿性があり、大きく伸縮もします。

一方「機械漉き」の障子紙は、「手漉き」の障子紙ほどの吸湿性はなく、伸縮も手漉きに比べると少ないのです。

あとは、障子紙を作成する「繊維」のちがひ。安価な物は「木材パルプやレーヨン」など短い繊維の物が使用され、高価な物になるほど和紙の原料である「楮」などの長い繊維の物が多く含まれます。

「紙」は本来、繊維のからみで作成されるので、繊維の長い楮などを使用した障子紙は耐久性に富み長持ちします。

どの程度のスパンで張替えれば良いのか？

「この紙なら何年、あの紙なら何年」と決まっている訳ではありません。

住空間というのは、そこに住まう人の生活によって変化を生じます。

「破れたから張替えよう」という人も居れば

「もう5年経ったから張替えよう」という人も居ます。

ただ、障子紙の違いで耐久性や丈夫さが異なる事は確かです。

障子のすべりが悪い

長年使用していると、障子のすべりが悪くなります。敷居に「イボタロウ」をぬると、すべりが良くなりますよ。

イボタロウムシの分泌物から抽出したものを、桐タンスのつや出しや木材の仕上げ用にも利用される
(税込み368円)



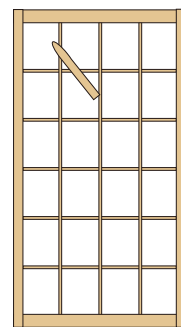
以前、障子を「のり」以外で貼った事があり、紙がきれいにとれない

削り取る以外に方法はありません。棧を傷つけないためにも障子は「のり」で貼るように心がけましょう。

でんぷん・煮のりであれば、水だけできれいにとれます。

1. まずは、古い障子紙をはがします

昔ながらの「でんぷん・煮のり」で貼られた障子紙は、水だけできれいにはがれます。紙をはがした後、のりが残っている場合は竹べらなどで残ったのりをこそぎ取ります。



2. 障子の棧を拭き、きれいにします。

ほこりなどを「ぬれぞうきん」で拭き、障子枠と棧を乾かします。

ロール紙

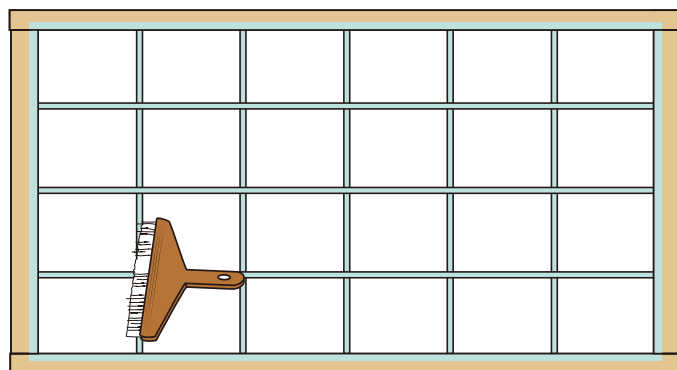
→ 障子枠が乾いたら下へ続く

二尺三尺判

→ 障子枠が乾いたらP.3へ

3. ロール紙 障子の棧にのりを置きます。

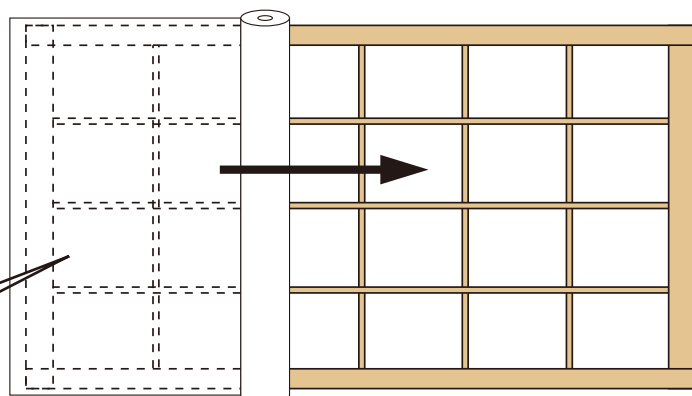
下に新聞紙などを敷き、障子を寝かせて障子の棧に「薄めののり」をのりハケでポンポンとのりを置いてゆくようにぬります。のりが薄いので、乾きが早いです。手際よく、作業を進めましょう。



4. ロール紙 障子紙を貼ります。

障子と平行に障子紙をあて、棧の上を紙がたるまないように少々引っ張り気味にコロコロとこころがしながら、棧に障子紙がつくように、時折、障子紙の上から手でなでつけてゆきます。

紙がたるまないように気をつけましょう

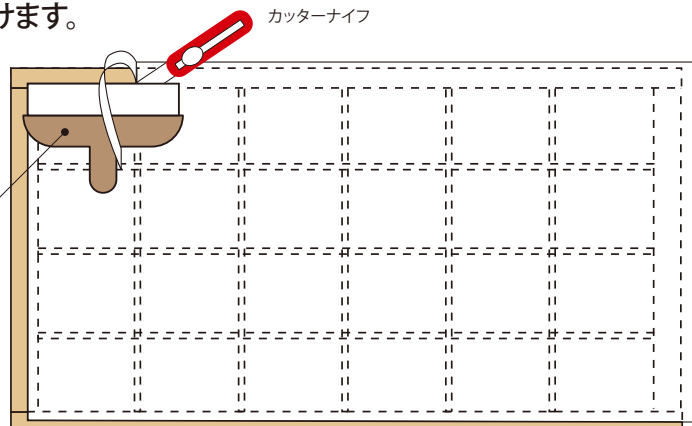


5. ロール紙 障子紙を切り、霧吹きで水を吹き付けます。

全体に障子紙が貼れたら、棧から出た障子紙を定規または、地べらをあててカッターナイフで切ります。貼り終わったら、全体に霧吹きで軽く水を吹き付けて乾くの待ち、できあがりです。水を吹きかける事で、乾いた時に少々シワは伸びます。

地べら

カッターナイフ



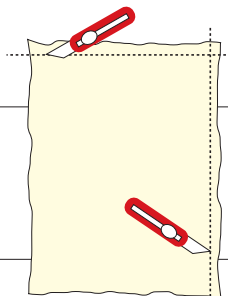
注意事項

- 障子貼る時の糊は薄く作りましょう。
あまり濃い糊で貼ると次回の張り替えの時に糊が取れず棧を傷めてしまいますし、紙にシミが出来やすくなります。
- 糊を付けたら素早く紙を張りましょう。
糊が薄いので早く乾いてしまいます。糊を付けた後は早めに紙を貼ってしまいます。

3. 二尺三尺判

障子紙を切ります。

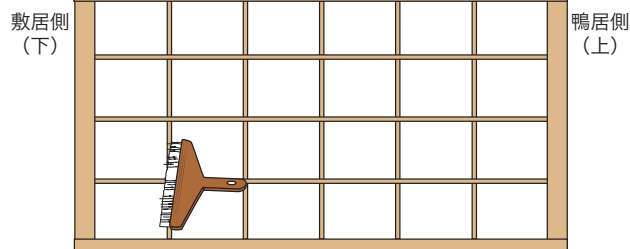
みみのある和紙の障子紙は、二辺を切り、直角にします。



4. 二尺三尺判

障子の棧にのりを置きます。

下に新聞紙などを敷き、障子を寝かせて障子の棧に「薄めののり」をのりハケでポンポンとのりを置いてゆくようにぬります。紙が小さいので、貼るところからこまめに「薄めののり」をします。紙は、障子枠の下から貼ってゆきます。

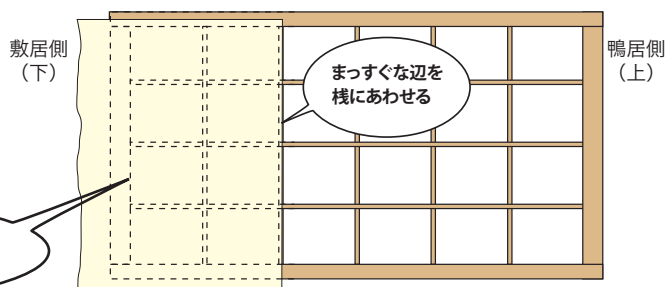


5. 二尺三尺判

障子紙を貼ります。

障子枠にかぶさる程度に紙を置きます。まっすぐになった辺を棧にあわせ、棧に障子紙がつくように、障子紙の上から手でなでつけてゆきます。

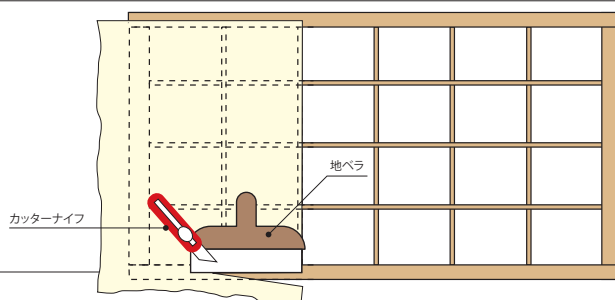
紙がたるまないように気をつけましょう



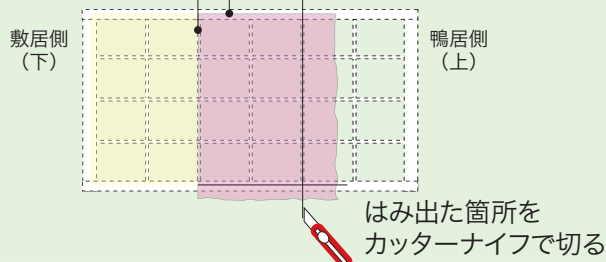
6. 二尺三尺判

障子紙を切ります。

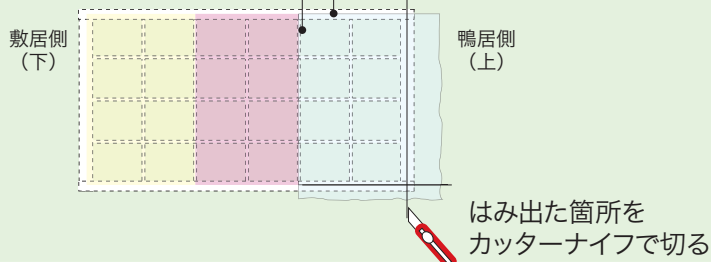
障子紙が貼れたら、棧から出た障子紙を定規または、地べらをあててカッターナイフで切ります。上記の作業を繰り返し、障子紙を貼ります。



2枚目 あらかじめ、みみを切っておく



3枚目 あらかじめ、みみを切っておく



7. 二尺三尺判

霧吹きで水を吹き付けます。

障子紙を貼り終わったら、全体に霧吹きで水を吹き付けて乾くのを待ち、できあがりです。水を吹きかける事で、乾いた時に少々のシワやたるみは伸びます。



注意事項

- 障子を貼る時の糊は薄く作りましょう。あまり濃い糊で貼ると次回の張り替えの時に糊が取れず棧を傷めてしまいますし、紙にシミが出来やすくなります。
- 糊を付けたら素早く紙を張りましょう。糊が薄いので早く乾いてしまいます。糊を付けた後は早めに紙を貼ってしまいます。